

## R6年度 美術館評価調書

### A 優れた作品の収集と適切な保管

三岸好太郎美術館

#### 【基本的運営方針】

三岸好太郎美術館においては、三岸好太郎の作品や資料などを収集・保存します。

#### 【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画 [PLAN]	事業実施状況 [DO]
優れたコレクションの形成	●三岸家からの220点の作品寄贈(1967年)を出発点として、美術館にふさわしい作品の収蔵を進めてきた収集活動の成果と課題を踏まえ、第四期北海道立美術館等作品収蔵計画に基づき、三岸好太郎の作品や資料の収集に取り組みます。	三岸家遺族ならびに北海道内外の個人計4名から、三岸好太郎作品14点(油彩2点、水彩・素描9点、版画3点)ならびに関連作家資料15点(三岸節子油彩4点、木村荘八水彩・素描11点)を受贈により収集した。これだけまとまった点数の収集は、220点の三岸家からの受贈により当館が発足してから初めてであり、コレクションの充実を図ることができました。
所蔵作品の適切な保管	●作品や資料の展示・保存環境を適切な状態に保持するとともに、作品の状態・保管状況を適宜点検して、必要に応じて適切な修復や、保管状況の改善に取り組みます。	・版画2点並びに水彩・素描1点、計3点について、UVカット低反射アクリル+中性紙ボードで額装し、作品保護の対策を行うことが出来ました。 ・展示室、収蔵庫等の室温、湿度について、設備管理委託業者と連携を図り、適切な保管環境の維持に努めました。 ・虫害対策としてトラップを設置し、発生状況をモニタリングしました。
コレクションの効果的な活用	●「所蔵品展」「特別展」でのコレクション紹介において、調査研究の進展を踏まえつつ、各テーマに即して多彩多様な作品展示となるよう工夫し、保存面にも配慮した効果的な活用に取り組み続けます。	・堺市中央図書館が所蔵する安西冬衛寄贈資料を調査し、好太郎と同時代に活躍したモダニスト詩人・安西冬衛と好太郎のポエジーの響きあいを、所蔵品展「モダニストの『蝶』 詩人・安西冬衛と好太郎」展で紹介しました。 ・所蔵品展「ダブル・ファンタジー」展ならびに所蔵品展「『匂ふやうな灰色』」展では、それぞれ、「ダブル」「匂ふやうな灰色」というキーワードを前面に打ち出し、コレクションを新鮮な角度から鑑賞していただく工夫をしました。 ・特別展「わがこころの街 好太郎と画家たちの札幌」展では、好太郎が札幌を描いた絵画と合わせて、同時代の画家が描いた戦前を中心とする札幌風景を展示し、古き良き時代の札幌の雰囲気を感じていただきました。

#### 【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定 [PLAN]		評価 [CHECK]					今後の対応方向 [ACTION]	
		前年度実績	目標値(a)	実績値(b)	達成率(b/a)	指標の判定	項目評価	総合評価		
優れたコレクションの形成	収集方針に基づく収集活動 [定性]	—	—	—	—	①	b	【成果】三岸好太郎作品14点、関連作家資料15点、計29点受贈によりコレクションの充実を図ることが出来た。	B	取組に高い成果があったので、今後も継続して推進していく。また、事業の充実や作品修復のための外部資金の確保にも引き続き取り組む。
所蔵作品の適切な保管	所蔵品データベースの整備率	100%	100%	100.0%	100.0%	①	a	【成果】 ・所蔵作品はすべてデータベース(サムネイル画像)登録済みであり、詳細画像についても順次デジタル化を進めた。 ・UVカット低反射アクリルの額装(3点)により、作品保護を推進できた。 【課題】 ・収蔵作品が増え、今後さらに作品修復や作品保護の措置が必要となる。		
	適切な保管環境の維持と所蔵作品の計画的な修復 [定性]	—	—	—	—	①	a	【成果】 ・調査研究の推進や新しい視点からの好太郎芸術の紹介により、来館者の高い満足度を得ることが出来た。		
コレクションの効果的な活用	コレクションの活用の状況 [定性]	—	—	—	—	①	b	【成果】 ・調査研究の推進や新しい視点からの好太郎芸術の紹介により、来館者の高い満足度を得ることが出来た。		

## R6年度 美術館評価調書

三岸好太郎美術館

### B 多彩で特色ある展示活動の充実

#### 【基本的運営方針】

三岸好太郎美術館においては、三岸コレクションを系統的に紹介する「所蔵品展」や多彩なテーマによる特別展を開催します。

#### 【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画 [PLAN]	事業実施状況 [DO]
多様なニーズに応える展示会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>●三岸好太郎の芸術を多様な観点からとらえる「所蔵品展」および「特別展」などを開催します。</li> <li>・「所蔵品展」(年3回)では、三岸の画業をたどりつつ、その作品の魅力をより深く紹介する「モダニストの『蝶』 詩人・安西冬衛と好太郎」「ダブル・ファンタジー ふたつのものがあうとき」「『匂ふやうな灰色』-好太郎・乳白色の世界へ」を開催します。</li> <li>・「特別展」(年1回)では、「わがこころの街-好太郎と画家たちの札幌」を開催し、三岸及び同時代の画家が描いた作品を「ふるさと札幌の風景画」という切口から紹介します。</li> <li>・AGH(アートギャラリー北海道)事業として、北海道ゆかりの若手美術家を紹介する企画「#みまのめ」の第10回展を開催します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所蔵品展として、「モダニストの『蝶』 詩人安西冬衛と好太郎」(4/27-7/4)、「ダブル・ファンタジー ふたつのものがあうとき」(7/13-9/25)、「『匂ふやうな灰色』-好太郎・乳白色の世界へ」(12/14-4/18)を開催し、新鮮な切り口により、コレクションの新たな魅力をご紹介しました。</li> <li>・特別展として、「わがこころの街-好太郎と画家たちの札幌」(10/5-12/3)を開催し、戦前の札幌風景のノスタルジックな魅力を堪能いただきました。</li> <li>・AGH事業として、「#みまのめVOL.10」(12/14-2/25)を開催し、若手芸術家によるフレッシュな表現にも力をご紹介しました。</li> </ul>
観覧者拡充のための工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各企画テーマにも沿った展示方法や解説パネル等の工夫に取り組んで、作品の魅力をさらに引き出して、理解と観覧の質を高めるとともに、コレクション以外の三岸作品や他作家の作品などの展示(特別展、みまのめ等)により、観覧者層の幅を広げ、美術館への注目度を高めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所蔵品展「モダニストの『蝶』 詩人安西冬衛と好太郎」では、冬衛と好太郎の詩句をカットティングシートで大きく掲出し、文字を展示の要素として活かした展示手法により、好評を得ました。</li> <li>・特別展「わがこころの街-好太郎と画家たちの札幌」では、北一条教会、北光教会、北海道医師会などの市内の所蔵先から魅力的な作品を拝借し、展示会の内容の充実を図りました。</li> <li>・「みまのめ」展では、作者が所蔵する近作や新作を展示することにより、北海道の若手作家のフレッシュな表現を紹介し、特に高大生層の観覧者増を図りました。</li> </ul>
館外における鑑賞機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ミギシ・サテライト(北菓楼札幌本館)においても三岸作品を展示するほか、道内外の美術館等からの貸出希望にも適宜応じ、三岸好太郎の魅力が館外に広く紹介して、三岸と美術館への親しみを増すことに取り組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミギシ・サテライト(北菓楼札幌本館)令和6年3月14日~令和7年3月13日において4点の作品を順次展示しました。(《北大のポプラ並木》0-51 3/14-6/13、《水盤のある風景》0-52 6/13-9/12、《貝殻と蝶》0-81 9/12-12/12、《風景》R-33 (12/12-R7/3/13 計4点</li> <li>・国立アイヌ博物館「ミナ ミナ 『おぼけのマールとすてきなことば』」展(3/16~5/12)に《赤い肩かけの婦人像》0-16《猫》0-39を貸し出しました。</li> </ul>

#### 【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定 [PLAN]			評価 [CHECK]					今後の対応方向 [ACTION]	
		前年度実績	目標値(a)	設定の考え方	実績値(b)	達成率(b/a)	指標の判定	項目評価			総合評価
								成果・課題			
多様なニーズに応える展示会の開催	展示会の観覧者数(※展示会毎の内訳は下表のとおり)	12,001人	12,001人	過去5年間の最高値(道単展)	11,728人	97.7%	②	b	【成果】観覧者数は目標値にかなり近い人数まで到達した。また、観覧者の満足度も引き続き高い評価を得ている。	B	引き続き魅力的な展示や教育普及事業を実施するとともに、学校への働きかけやSNSを活用した広報等により、児童生徒や若い世代の観覧者を増やす取組を行う。
	観覧者の満足度	96.2%	96.2%	過去5年間の最高値	95.9%	99.7%	②				
観覧者拡充のための工夫	観覧者に占めるリピーターの割合	39.4%	46.0%	過去5年間の最高値	48.1%	104.6%	①	c	【成果】限られた所蔵品を新たな視点で企画した展示会を行うことにより、リピーターの方々からも展示内容がその都度新鮮である等の好評価を得ている。 【課題】 ・正確なりピーター数を把握できないことに加え、リピーター割合の増加は新規客割合の減少と捉えられてしまうので、リピーターに係る目標値の見直しが必要と考える。 ・児童生徒の割合が低く、特に高校生は全体の2%に満たない。		
	観覧者に占める児童生徒の割合	10.3%	13.9%	過去5年間の最高値	5.4%	38.8%	④				
館外における鑑賞機会の提供	展示の企画構成やPR等の工夫 [定性]	-	-	-	-	-	①	b	【成果】ミギシサテライトなど館外展示により広く三岸作品に触れる機会を提供できた。		

#### 【展示会開催状況】

区分	展示会名	計 画				実 績				特記事項	
		会期	開催日数	観覧者見込数(うち児童生徒)	1日当たり観覧者数	会期	開催日数	観覧者数(うち児童生徒)	1日当たり観覧者数		
常設展	恋する画家の陶酔さんまい	4/5~4/18	12	444 ( 70 )	37	4/5~4/18	12	422 ( 15 )	35		
	モダニストの「蝶」 詩人・安西冬衛と好太郎	4/27~7/4	59	3,127 ( 494 )	53	4/27~7/4	59	2,789 ( 168 )	47		
	ダブル・ファンタジー ふたつのものがあうとき	7/13~9/25	64	3,520 ( 556 )	55	7/13~9/25	64	3,536 ( 223 )	55		
	「匂ふやうな灰色」-好太郎・乳白色の世界へ	12/14~4月上旬	81	2,511 ( 396 )	31	12/14~4/18	81	2,517 ( 167 )	31		
	常設展計	-	216	9,602 ( 1,516 )	-	-	216	9,264 ( 573 )	-		
特別展	館単独主催展	わがこころの街-好太郎と画家たちの札幌	10/5~12/3	52	2,399 ( 379 )	46	10/5~12/3	52	2,464 ( 56 )	47	
	実行委員会展			( )				( )			
	貸館展			( )				( )			
	特別展計	-	52	2,399 ( 379 )	-	-	52	2,464 ( 56 )	-		
合 計		-	268	12,001 ( 1,895 )	-	-	268	11,728 ( 629 )	-		

# R6年度 美術館評価調書

## C 学習の場と情報提供の充実

三岸好太郎美術館

### 【基本的運営方針】

展覧会事業やコレクションに関連したさまざまな教育普及活動を実施するとともに、子どもを対象とした多彩な教育事業の充実を図ります。また、地域の人々の知的欲求を満たす学習の場を提供するとともに、美術についての情報を幅広く提供します。

### 【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画 [PLAN]	事業実施状況 [DO]
教育普及活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>●三岸好太郎の芸術により親しみ、楽しみ、理解し、鑑賞の質を高めるような教育普及活動を検討します。</li> <li>・学芸員によるトークなど、展示（所蔵品展・特別展）と結びつけた解説活動を行うほか、ボランティアと連携した所蔵品展展示解説の実施に取り組みます。</li> <li>・「#みまのめ」展での、出品作家によるトークやインタビューに取り組みます。</li> <li>・夏休み・冬休み時期には、展示内容に合わせた子ども向けのプログラム「たんけん美術館」を実施します。</li> <li>・展覧会のテーマや三岸好太郎作品等に関連した事業（講演、講座、展示室での音楽会等）の適切な実施について検討します。</li> <li>・教育活動で使えるプログラムを学校等へ周知することにより、子どもや若者の利用促進を図ります。</li> <li>・展覧会のテーマや三岸好太郎作品等に関連した事業（講演、講座、イベント、展示室での音楽会等）を積極的に実施するとともに、課題に対応したブラッシュアップに努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学芸員によるギャラリー・トークの実施。(10回)</li> <li>・ボランティア解説員による展示解説の実施。(13:00-15:00、日・祝を除く)</li> <li>・#みまのめVOL.10出品作家によるアーティスト・トークの実施。(4回)</li> <li>・夏休み・冬休み時期に子ども向けプログラム「たんけん美術館」を実施。</li> <li>・開館記念日(7/1)、道みんの日(7/17)、カルチャーナイト(7/19)などの無料開放の機会にあわせて、ギャラリー・ツアーやグッズ・プレゼントなど、多彩なプログラムを用意し、来館者の満足度を高める工夫をしました。</li> <li>・「モダニストの『蝶』 詩人・安西冬衛と好太郎」展にあわせて朗読会(6/8)とミュージアム・コンサート(6/29)を開催し、展覧会鑑賞の一助としました。</li> <li>・マール記念日に読み聞かせ付きコンサートとサイン会を実施しました(12/21)。</li> <li>・シモトヒデノリ氏に協力いただき、折り紙建築のセルフワークショップを実施しました。(10/5-12/3)</li> <li>・コロナ禍で延期していたミニ・リサイトを4年ぶりに復活開催し、7組の若手演奏家に演奏機会を提供しました(5/18、7/19、10/12、11/2)。</li> <li>・「わがこころの街 好太郎と画家たちの札幌」展にあわせて「街歩きツアー」(10/19)を開催し、当館から知事公館、北一条教会、北葉楼札幌館を巡り歩き、北一条界隈の文化資産の魅力にふれていただきました。</li> </ul>
情報提供の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>●三岸好太郎や美術館の活動に関する情報提供の充実に取り組みます。</li> <li>・展示室内図書コーナーで、三岸好太郎に関する主要文献図書や関連図書等を閲覧に供します。</li> <li>・美術館の活動や事業について、ホームページやSNS、既存の印刷媒体のみならず、新たな外部との連携による広報活動も加えることにより、時宜を得た情報の発信と拡充を図ります。</li> <li>・コレクションデータベースを整備し、全所蔵作品のデータ公開を実施するほか、ホームページ及び外部リンク（文化遺産オンライン等）で主要作品の解説を含んだ作品情報を提供します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示室内図書コーナーにおいて、三岸好太郎の画集、書籍、開催展覧会図録、紀要、年報、美術館報、その他関連図書・文献資料などを閲覧に供したほか、三岸アトリエやミギンサテライトの解説文を設置するなど情報提供を行いました。</li> <li>・美術館ホームページにおいて、展覧会情報や各種イベント情報について情報発信を行いました。</li> <li>・SNSを活用し、展覧会情報や各種イベント情報、美術館の施設情報などについて頻度を高く発信しました。特に、今年度から新たにInstagramを開設しました。</li> <li>・ホームページ及び外部リンク（文化遺産オンライン等）で主要作品の解説を含んだ作品情報を提供しました。</li> <li>・「モダニストの『蝶』 詩人・安西冬衛と好太郎」でリモートミュージアムを制作し、多くの方に試聴いただきました。</li> </ul>

### 【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定 [PLAN]			評価 [CHECK]				今後の対応方向 [ACTION]	
		前年度実績	目標値(a) 設定の考え方		実績値(b)	達成率(b/a)	指標の判定	項目評価 成果・課題		総合評価
教育普及活動の充実	教育普及プログラムの実施件数	31	34	年度計画から算出	40	117.6%	①	a	【成果】 目標より多くの教育普及事業を実施することができ、参加者数も目標を大幅に上回った。多くの参加者から企画について高評価を得た。	B 引き続き教育普及事業を充実させ、子どもを対象とした事業や地域の人々の学習の場を提供する。 図書・資料コーナーは、図書の配架内容や設置場所等を工夫し、利用促進を図る。 HPとSNSの双方を活用した積極的な情報発信により来館を促す。
	教育普及プログラムの参加者数	2,299	1,740	年度計画から算出	2,012	115.6%	①			
	教育普及プログラムの企画・実施状況 [定性]	-	-	-	-	-	①			
情報提供の充実	ARS、図書コーナーの利用件数	1,038	4,520	過去5年間の最高値	787	17.4%	④	c	【成果】従来のX(旧Twitter)に加えて新たにInstagramを開設し、これらのSNSにより計画的かつ積極的な投稿を行うことにより、タイムリーに展覧会やイベント情報を発信することができた。 【課題】 ・図書・資料コーナーの利用者数が減少している。 ・HP閲覧数は昨年と比較しても大きく減少はしていないが、目標値の83%程度となっている。SNSの利用者が増えていることも要因の一つと考えられるが、引き続きHPでの発信内容の充実にも努める必要がある。	
	利用しやすい図書・資料コーナーの整備	-	-	-	-	-	②			
	HPアクセス件数	125,369	145,424	過去5年間の最高値	121,498	83.5%	③			
	SNSの投稿数	335	84	4展覧会×3、7サイト4、普及事業等34×2	637	758.3%	①			
	リモートミュージアムの公開件数	0	1	年度計画から算出	1	100.0%	①			
情報発信の工夫改善 [定性]	-	-	-	-	-	①				

## R 6 年度 美術館評価調書

### D 活動の基礎となる調査・研究の推進

三岸好太郎美術館

#### 【基本的運営方針】

三岸好太郎に関する調査・研究活動のほか、文献資料等や関連作家・作品等を調査します。  
また、調査研究の成果は、展覧会や教育普及・情報提供等様々な活動を通して広く社会に還元します。

#### 【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画 [PLAN]	事業実施状況 [DO]
調査・研究の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コレクションおよび三岸好太郎に関する調査・研究に取り組みます。</li> <li>・令和6年度以降の展覧会関連テーマや他館所蔵作品、北海道の若い芸術家たちの活動等についての調査・研究に取り組みます。</li> <li>・三岸好太郎や作品に関する資料（二次資料）や多様な情報の調査・収集・蓄積・保管・整理を進め、三岸好太郎の研究・鑑賞・学習等のセンター的・アーカイブ的な機能の充実と、一般利用者・研究者等が行う調査・研究の支援・協力に取り組みます。</li> <li>・調査研究の成果は、展覧会や教育普及・情報提供等様々な活動を通して広く社会に還元します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別展「わがこころの街 好太郎と画家たちの札幌」展企画のために、札幌市内の教会等が所蔵する戦前の札幌の風景画や、好太郎の風景画を調査して拝借し、同展の内容の充実を図りました。</li> <li>・三岸好太郎の作品ではないかという情報提供（3件）に対し、聞き取りを行い、作品情報の充実に資しました。</li> <li>・東京文化財研究所のデータベースをテーマとする研究会に発表者として参加し、今後、三岸好太郎のアーカイブ機能の強化について、有益な知見を得た。</li> <li>・1985年（昭和60年）から40年ぶりに版を改めて三岸好太郎美術館後援会から『三岸好太郎名品集』を刊行するにあたり、学芸員が内容の監修ならびに編集に携わり、約80点の掲載作品全てに作品解説を付し、調査研究の成果を広く共有することができた。</li> </ul>

#### 【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定 [PLAN]			評価 [CHECK]					今後の対応方向 [ACTION]	
		前年度実績	目標値(a)		実績値(b)	達成率(b/a)	指標の判定	項目評価(※定量指標がないため最高評価はb)			総合評価
			設定の考え方	成果・課題							
調査・研究の推進	学芸員による調査・研究の報告や発表の状況 [定性]	-	-	-	-	-	①	b	【成果】資料調査等による研究成果を展覧会に反映させ、展示内容や作品情報の充実を図ることができた。また、40年ぶりの名品集刊行にあたり、学芸員が監修ならびに編集に携わることにより、調査研究の成果を広く共有できた。 【課題】学芸員の研修は自己研鑽に依るところが大きい状況。	B	引き続き調査・研究、研修の機会の確保及び充実を図る。
	学芸員の研修等の状況 [定性]	-	-	-	-	-	①				

## R6年度 美術館評価調書

### E 多様な主体との連携・協力による地域の活力向上

三岸好太郎美術館

#### 【基本的運営方針】

地域の文化活動や学校の教育活動と連携・協力することで、美術に対する関心の向上と美術館の利用を促進を図り、地域の文化振興に努めます。

#### 【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画 [PLAN]	事業実施状況 [DO]
多様な機関との連携・協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>●北海道美術館協会や美術館ボランティアの活動に協力する取り組みを継続します。</li> <li>●地域と関わりを持つ企画を推進し、地域の人々の関心を高めることに取り組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道美術館協会と連携し、ボランティア解説員による展示解説を実施した。</li> <li>・北海道美術館協会が主催する美術講座参加者に対する展示室利用に協力した。</li> <li>・北海道美術館協会が主催する研修会(特別オリエンテーション)に対する講師派遣を行った。</li> <li>・北菓楼札幌本館及び三岸好太郎美術館後援会と連携し、来館者にスイーツ交換券を配布、美術館から北菓楼札幌本館へ人の流れを創出。</li> <li>・#みまのめVOL.10開催により北海道ゆかりの若手作家の表現活動を紹介した。</li> <li>・#みまのめVOL.10出品作家によるアーティスト・トークを実施した(4回)(再掲)。</li> <li>・マール記念日に読み聞かせ付きコンサートとサイン会を実施した(12/21、再掲)。</li> <li>・ミニ・リサイタルを4回計7組実施しました(5/18、7/19、10/12、11/2)。</li> <li>・街歩きツアー「好太郎の札幌を歩く 北一条・いやしの館編」を開催(10/19)し、当館を中心とするエリアの魅力向上に資した。</li> </ul>
学校等の教育機関との連携・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●近代美術館と連携して「オンラインアート教室」「指導者研修」「博物館実習」などに取り組むほか、児童生徒の自主研修や体験学習等への対応や地域の学校への出前講座など鑑賞事業の充実を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千歳高等支援学校を対象に、学芸員が講師として教室と美術館をオンラインで繋いだ鑑賞授業「オンラインアート教室」を実施した。</li> <li>・近代美術館博物館実習のプログラム「三岸好太郎美術館の施設・展覧会見学」において実習生を受け入れ、学芸員による説明を行った。</li> <li>・道立近代美術館指導者研修のプログラム「三岸好太郎美術館等見学」において、研修生を受け入れました。</li> <li>・札幌市立大通高等学校の依頼により、学芸員という仕事についての出前授業を行った。</li> <li>・札幌市立北九条小学校の依頼により、3年生を対象に当館学芸員による出前授業を実施しました。</li> <li>・学校教育で活用できるプログラムを紹介するため、近隣の幼、小、中、高校や高文連主催のイベント会場等を直接訪問したほか、連携実績のある高校へ電話等により授業への活用案内を行った。</li> </ul>

#### 【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定 [PLAN]			評価 [CHECK]				今後の対応方向 [ACTION]	
		前年度実績	目標値(a)		実績値(b)	達成率(b/a)	指標の判定	項目評価		総合評価
			設定の考え方							
多様な機関との連携・協力	地域の団体やイベント等と連携した取組の状況 [定性]	-	-	-	-	-	①	b 【成果】 ・開館記念日に北菓楼札幌本館及び美術館後援会と連携した取組を行い、美術館や連携施設のPRとともに人の流れを作ることができた。 ・北海道にゆかりのある若い作家の創作活動を紹介し、AGH事業の趣旨に資することができた。 ・美術館協会と連携し、ボランティア解説員による展示解説など観覧者へのサービス向上を図ることができた。 ・街歩きツアーにおいて近隣の施設・機関と新たな連携・協力関係を築くことができた。 ・新たにJAFとの連携による会員優待及び広報活動により利用促進を図ることができた。	A	現在連携している施設等と引き続き協力しながら事業を展開するとともに、今後さらに地域の様々な団体と連携した取組を充実させる。 また、オンラインを活用した学校との連携事業のほか、出前講座など鑑賞事業の充実を図るとともに、あらゆる機会を捉えて展覧会情報など美術館活動のPRに努める。
	企業や団体等と連携したPR活動 [定性]	-	-	-	-	-	①			
	道内美術館等との連携・協力の状況 [定性]	-	-	-	-	-	①			
	ボランティアとの連携・協力の状況 [定性]	-	-	-	-	-	①			
学校等の教育機関との連携・支援	学校教育と連携した取組の状況 [定性]	-	-	-	-	-	①	a 【成果】 ・出前授業で各学校の授業内容に応じて学芸員が作品について詳しく説明するなど連携を図った。 ・オンラインを活用した鑑賞授業の実施により美術作品に触れる機会の少ない子どもたちに鑑賞機会を提供することができた。 【課題】 ・学校へ直接働きかけても利用増になかなか結びつかない。	A	現在連携している施設等と引き続き協力しながら事業を展開するとともに、今後さらに地域の様々な団体と連携した取組を充実させる。 また、オンラインを活用した学校との連携事業のほか、出前講座など鑑賞事業の充実を図るとともに、あらゆる機会を捉えて展覧会情報など美術館活動のPRに努める。
	児童生徒向け鑑賞教室(オンラインを含む)の実施件数	3	4	過去5年間平均値	4	100.0%	①			
	キャンパスパートナーシップのメンバー校数	-	-	近美に準ずる	-	-	-			
	教員を対象とした研修の実施状況 [定性]	-	-	-	-	-	①			

## R6年度 美術館評価調書

### F 安全で快適な滞在環境の提供

三岸好太郎美術館

#### 【基本的運営方針】

芸術文化に触れる場所にふさわしい落ちついて趣のある環境の整備に努めます。

#### 【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画 [PLAN]	事業実施状況 [DO]
施設の適切な維持管理	●美術館施設の安全性の確保を図るため、定期検査等で常に施設設備の機能や安全性を点検するとともに、施設の不具合や検査等で指摘のあった事項に対して速やかに修繕又は改修を行うなど、適切に施設を管理します。	・定期検査、巡回等で施設設備の機能や安全性を点検・確認し、施設の不具合や検査等で指摘のあった事項に対し、関係部署と連携し速やかに対応を行った。 ・R6は、展示室壁面に水染みができたが、館職員、設備運転保守管理業者や工事業者と連携を図り、適切に対応した。 ※屋上ドレンの詰まりにより、降雨が増えた際にオーバーフローが発生し、老朽化した配管をつたって雨水が浸入した模様。（正確な原因は不明。） ※応急処置として屋上ドレンの清掃、及びドレン詰まりの原因となる屋上に生えた植物等のゴミを職員総出で撤去。
施設の快適性の向上	●知事公館の庭園内という立地環境、三岸好太郎のアトリエのイメージを採り入れた建築設計や、美術館の特色（500㎡という小規模ながら変化に富む空間、大きなガラス窓からの採光にも工夫した照明、吹き抜けの空間を持つ展示室やロビー、静かで落ち着いた雰囲気等）を活かした事業運営を工夫し、観覧者が心地よく鑑賞の時間を過ごせるよう、良好な滞在環境を提供します。 ●外国人を含めた来館者への接客内容の向上や、館内設備等の安全性と利用の快適さの保持に取り組みます。	・受付・監視等委託業者による丁寧な接客対応を実施した。 ・館職員、警備、受付・監視、設備運転管理保の各委託業者、カフェ・売店事業者がそれぞれ連携を図り、良好な滞在空間の維持・提供に努めた。

#### 【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定 [PLAN]			評価 [CHECK]					今後の対応方向 [ACTION]	
		前年度実績	目標値(a)		実績値(b)	達成率(b/a)	指標の判定	項目評価			総合評価
			設定の考え方					成果・課題			
施設の適切な維持管理	施設の安全性確保のための必要な措置の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①	b	【成果】 施設の不具合等に対し、関係部署及び全職員と設備委託業者等との連携により、迅速かつ適切に対応することができた。 【課題】 ・施設の老朽化に伴う突発的な不具合への対応が必要。 ・次年度以降に予定されている大規模修繕に伴う対応方向の検討。	B	引き続き施設の不具合に迅速かつ適切に対応するとともに、委託業者や関係部署等と連携を図りながら良好な滞在空間の提供に努める。
	誰もが安心して利用できる施設設備の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①				
施設の快適性の向上	鑑賞環境に対する満足度	95.0%	96.4%	過去5年間最高値 (R3)	96.8%	100.4%	①	b	【成果】 鑑賞環境やショップ、スタッフの接客等について、引き続き来館者や美術館協議会委員の方々から高い評価を得ることができた。 【課題】 ・老朽化による展示室の壁の劣化（シミ、汚れ、穴など）が目立ち、来館者からも鑑賞に支障を来す等の意見が寄せられている。		
	レストラン・喫茶に対する満足度	98.0%	98.0%	過去5年間最高値 (R5)	98.4%	100.4%	①				
	ミュージアムショップに対する満足度	98.0%	98.0%	過去5年間最高値 (R5)	98.4%	100.4%	①				
	ボランティアや事業者と協力してのサービス向上に向けた取組の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①				
	館内スタッフの対応に対する利用者満足度	97.0%	97.0%	過去5年間最高値 (R5)	95.9%	98.9%	②				
ホスピタリティー向上に向けた取組の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①					